

世界のどこでも通用する卒業資格、国際バカロレア (International Baccalaureate)

記事のURL

<https://www.gklibrarykor.com/ja/article/10845/>

PDFレイアウトのプレビュー - 本文の一部のみ

外交官や国際機関で働く親について、数年ごとに国を移り住む生徒を思い浮かべてみましょう。国ごとに教科書も試験も違うため、どこで高校を終えても、大学に入るときに成績を正しく認めてもらうのは簡単ではありません。引っ越すたびに勉強を一から合わせ直さなければならぬようなものです。こうした悩みから出発し、世界のどの大学でも通用する一つの教育課程と試験をつくったのが「国際バカロレア (International Baccalaureate)」です。国際バカロレアとは、簡単に言えば「スイス・ジュネーブに本部を置く非営利の教育財団がつくった国際的な教育課程と、その修了資格」のことです。よくIBと略され、1968年に設立されて、今では世界の多くの国の公立・私立学校で実施されています。この記事では、国際バカロレアが生まれた背景、代表的な課程であるディプロマ・プログラムの構成、点数のつけ方、そして韓国の公教育に導入されるまでを順に見ていきます。国境を越える教育課程、国際バカロレア 国際バカロレアはどのように始まったのか？ 国際バカロレアは、インターナショナルスクールの教師たちの現実的な悩みから生まれました。さまざまな国の生徒が一つの教室に集まる学校では、どこか一つの国の試験だけで生徒を大学に送り出すのが難しかったからです。(1) ジュネーブ・インターナショナルスクールの試み1960年代半ば、ジュネ